

## 参議院選挙 諸政策での各党の姿勢・考え方



7月21日(日)投票の参議院選挙が近づいてきました。今度の選挙では、景気、消費税、憲法、TPP、原発など日本の針路と中小業者の明日が問われています。アベノミクス効果を中小業者・国民は実感しているのか。「平和でこそ商売繁盛」の願いを託せるのはどの政党か。下の各党の姿勢・考え方を参考に大切な一票を投じましょう。(下の表は、7月1日付商工新聞4～5面を参考に作成しました)



	消費税	TPP	原発	憲法
日本共産党	消費税増税は中止	交渉参加撤回を	再稼働と輸出に反対、ただちに原発ゼロ	改憲許さず、憲法を守り、暮らしに生かす
自民党	増税(三党合意で来年4月から引き上げ)	積極的に参加	再稼働、輸出を積極推進	国防軍創設。積極的に改憲
民主党	増税(三党合意で来年4月から引き上げ)	野田首相時代に推進	規制委員会の確認得れば再稼働容認	未来志向の名で「改憲」を構想
公明党	増税(三党合意で来年4月から引き上げ)	TPPに参加(政府に一任)	原発ゼロをめざす	現行憲法に新たな条項を加える「加憲」提唱
みんなの党	増税を凍結し、国会議員定数の削減など	積極的に参加	電力自由化によって、原発ゼロへ	96条を緩和
生活の党	凍結	参加反対	原発ゼロへ	憲法の原則維持・一部見直し加憲
みどりの風	凍結	参加反対	脱原発へ	基本原理を堅持
社民党	反対	参加反対	再稼働ゼロへ。脱原発にむけ努力	改憲には反対
日本維新の会	税率引き上げをして、地方税化すべき	参加推進	「脱原発依存」を掲げつつ、再稼働容認	96条を緩和
新党大地	凍結	参加反対	原発ゼロ	憲法改正は否定せず(96条改正は反対)